

〔環境とムラタ〕

廃棄物の削減

ムラタでは、2003年度にゼロエミッションを国内グループで達成しました。
現在は、海外でのゼロエミッションと、廃棄物発生量そのものの削減に取り組んでいます。

リデュース・リユース・リサイクルの推進

廃棄物排出量を実質生産高原単位2000年度比48%削減

ムラタでは、廃棄物の約70%を占める廃プラスチック・廃液の削減を重点的に取り組んでいます。廃プラスチックについては、フィルムから付着したセラミックスを剥離することによって、プラスチック、セラミックスの再資源化を進めています。また、

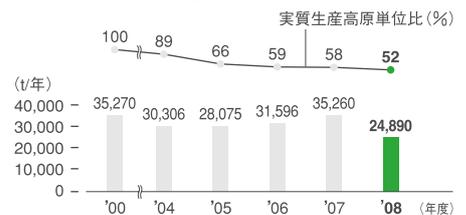
廃液については濃縮装置の導入によって約20分の1に減溶化しています。2008年度は、実質生産高原単位2000年度比48%削減を達成することができました。



セラミックス付きフィルムのリサイクル*



■廃棄物排出量の推移



Memo

※セラミックス付きフィルムのリサイクル

セラミックスが付着したPETフィルムから、セラミックスの部分を剥離し、分離したPETフィルムについてはPET原料として再資源化しています。また剥離したセラミックスについては貴金属回収・非鉄金属精錬による再資源化を行っています。

※JWNETとは？

廃棄物処理を委託する際に、処理業者に交付する廃棄物管理票(紙マニフェスト)を電子情報化して確実に処理されていることを確認する政府主導のシステムです。

電子マニフェストの導入を全社で達成

ムラタでは「コンプライアンス」「ゼロエミッション」「廃棄物の削減」を基本方針として廃棄物管理に取り組んでいます。

現在は2010年度をターゲットとした第4次環境行動計画を定め、廃棄物排出量そのものの削減を推進しています。

この取り組みに加え、2008年度は、国内グループでの電子マニフェスト(JWNET*)導入を完了しました。また電子マニフェストの導入に合わせ、廃棄物管

理を融合させた独自の廃棄物遵法管理システムを構築し、運用を開始しました。これにより、グループ全体の廃棄物の一元管理が可能となり、コンプライアンス強化と業務の効率化を図ることができました。2009年度は電子マニフェスト交付枚数比率の目標を85%以上とし、今後限りなく100%に近づけるとともに、コンプライアンスの徹底と業務の効率化を推進していきます。

マレーシア・台湾でゼロエミッション達成

ムラタでは、2003年度に国内で廃棄物ゼロエミッションを達成し、現在も維持しています。ゼロエミッションとは、直接および中間処理も含めた埋立廃棄物をゼロにし、リサイクル率100%にすることと、ムラタでは定義しています*。海外でも、2006年度に「2010年度にゼロエミッション達成」の目

標を掲げ、取り組みを進めています。国や地域によって事情が異なり、ゼロエミッション達成には困難をとまいますが、2008年度はMurata Electronics (Malaysia) Sdn.Bhd.、台湾村田股份有限公司でゼロエミッションを達成しました。

*浄化槽余剰汚泥など自らの取り組みだけでは対応できない廃棄物は、除外しています。

Message

従業員の意識改革による環境負荷低減に取り組んでいます。

循環型社会の実現に向け、従業員の廃棄物発生抑制と分別の意識改革による環境負荷低減に取り組んでいます。さらに、製造・開発部門とともに、廃棄物が発生しない生産工程の構築やリサイクルが容易にできる製品開発及び設計を進めています。

また、ムラタグループにおける情報共有を目的として、2009年4月から廃棄物遵法管理システムでの運用がスタートしました。拠点間の連携を密にして廃棄物の削減やリサイクル率の向上を図り、将来的にはムラタからの「廃棄物排出量ゼロ」を目指すなど、循環型社会に貢献すべく、従業員一丸となり頑張っていきたいと思っております。

株式会社村田製作所
野洲事業所
管理部 環境管理課
荒巻 雅文